

一般社団法人 日本神経精神薬理学会
第 73 回理事会議事録

日 時 2020 年 4 月 25 日 (日) 13 : 00 ~ 16 : 00
場 所 Zoom を用いての遠隔会議
出席理事 中込 和幸、大隅 典子、井上 猛、岩田 仲生、大森 哲郎、尾崎 紀夫、菊地 哲朗、
喜田 聡、
北市 清幸、久住 一郎、成田 年、橋本 均、服部 信孝、南 雅文、宮川 剛、
宮田 久嗣、山脇 成人
以上 17 名中 17 名出席
出席監事 吉岡 充弘
欠席監事 西川 徹
出席委員長 橋本 亮太、渡邊 衡一郎、新田 淳美、森尾 保徳、池田 和隆、小居 秀紀
欠席委員長 内田 裕之、齊藤 卓弥、吉尾 隆
議 長 中込 和幸

上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

議 案 :

前回および前々回理事会 (第 71 回・第 72 回) 議事録の確認がなされ、異議なく承認された。

報告事項

1. 第 50 回年会準備状況報告 (大隅会長)

大隅会長より年会準備状況について報告された。

テーマ : レジリエントな心をつくる

日 時 : 2020 年 8 月 21 日 (金) ~ 23 日 (日)

会 場 : 仙台国際センター

会 長 : 大隅典子 (東北大院医学系研究科)

同時開催 :

第 42 回日本生物学的精神医学会年会

第 4 回日本精神薬学会総会

現下の社会情勢に鑑み、WEB 開催を検討している旨の報告がなされた。

2. 各種委員会報告

以下、提出資料に基づき、各種委員会報告がされた。

a. 執行委員会 (中込委員長)

中込委員長より、執行委員会活動内容について報告された。

b. 総務委員会 (北市委員長)

北市委員長より、総務委員会活動が報告された。

2019 年 11 月 1 日から 2020 年 4 月 3 日までの会員動向について以下の通り報告された。

会員数	名誉会員	30 名
	功労会員	50 名
	評議員	329 名
	一般会員	1,222 名
	学生会員	196 名
	法人会員	16 社
	新入会	207 名
	退会	19 名

また、本年度の理事・監事選挙の施行(案)の説明がなされた。

- c. 財務委員会(大隅委員長)
大隅委員長より、予算執行状況について審議事項で扱う旨の報告がおこなわれた。
- d. 倫理委員会(尾崎委員長)
尾崎委員長より、以下の事項に関して資料を基に報告がおこなわれた。
 - ・日本精神神経学会「症例報告を含む医学論文及び学会発表におけるプライバシー保護に関するガイドライン」Q&Aについて
 - ・「精神疾患の克服と障害支援にむけた研究推進の提言」について
 - ・日本神経科学学会 臨床・関連学会連携委員会について
 - ・日本脳科学学会連合「精神・神経ゲノム情報管理センター提案書」の要約について
- e. 編集委員会(宮川委員長)
宮川委員長より、編集委員会の活動報告がおこなわれた。
掲載・投稿状況、プロモーション、収支、カスケード査読の追加等が報告された。
- f. 国際学術委員会(新田委員長)
新田委員長より、国際学術委員会の活動報告がおこなわれた。
AsCNP・CINP への協力、関係学会の開催予定が報告された。
- g. 広報委員会(橋本委員長)
橋本委員長より、広報委員会の活動報告がおこなわれた。
- h. 企画委員会(喜田委員長)
喜田委員長より、企画委員会の活動報告がおこなわれた。
第 50 回年会における教育講座企画の進捗が報告された。
- i. 学術賞選考委員会(大森委員長)
大森委員長より、学術賞選考委員会の活動報告がおこなわれた。
鍋島賞寄附金の受納、JSNP Excellent Presentation Award for CINP の計画、本年度の学術奨励賞・優秀論文賞の選考について報告がなされた。
- j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会(森尾委員長)
森尾委員長より、トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会の活動報告がおこなわれた。
精神・神経データシェアリング推進組合を技術研究組合として法人化するための準備を行っている件、評価バリエーション軽減のための予備試験の準備状況、製薬会社からのコンサルテーションの状況が報告された。
また、部会メンバーの交代と規程類の改訂が提案され、承認された。
また、情報通信機器を介して評価尺度を用いた中央評価を実施する評価者の認定事業に関する提案がなされ、承認された。
- k. 薬事委員会(渡邊委員長)
渡邊委員長より薬事委員会の活動報告がおこなわれた。
- k-2. クロザピン関連対応タスクフォース (橋本亮太執行委員)
クロザピン関連の対応について、橋本執行委員より報告がおこなわれた。
- l. COI 委員会(宮田委員長)
宮田委員長より、例年通り活動をおこなっている旨が報告された。
- m. 中枢薬専門薬剤師あり方検討 Working Group (吉尾委員長)
吉尾委員長欠席により中込理事長より WG の活動報告がおこなわれた。

- n. Nomenclature Working Group (内田委員長)
内田委員長より Nomenclature WG の活動報告がおこなわれた。
- o. 統合失調症薬物療法ガイドラインタスクフォース (中込委員長)
中込委員長、橋本執行委員より、ガイドラインの改訂、普及・教育・検証活動をおこなっている旨が報告された。
- p. PPPs タスクフォース (山脇委員長)
山脇委員長より PPPs タスクフォースの活動の報告が行われた。
- q. 会員交流促進タスクフォース (宮川委員長)
宮川委員長より活動報告がおこなわれた。
- r. 先端研究推進基盤構築タスクフォース (成田委員長)
成田委員長より活動報告がおこなわれた。
連携可能な研究領域の再分析と開拓、広報活動と入会勧誘、50 周年大会への演題提出の諸点が報告された。
- s. 児童思春期神経精神薬理タスクフォース (齋藤委員長)
齋藤委員長欠席により、活動報告は次回におこなうこととした。
- t. 不安症治療ガイドラインタスクフォース (井上委員長)
井上委員長より活動報告がおこなわれた。
不安症・強迫症診療ガイドラインについては、来年完成を目途としていることが報告された。
併せて 2022 年年会会長として、準備状況の報告がおこなわれた。
日 時：2022 年 11 月 4 日 (金) ～6 日 (日)
会 場：東京 都市センターホテル・砂防会館
会 長：井上 猛 (東京医科大学)
同時開催：日本生物学的精神医学会／日本臨床精神神経薬理学会／日本精神薬学会
- u. 50 周年記念事業ワーキンググループ (池田委員長)
池田委員長より活動報告がおこなわれた。
- v. 臨床神経薬理研究基盤構築タスクフォース (服部委員長)
服部委員長より活動報告がおこなわれた。

4. 第 49 回年会開催報告

宮田会長より報告がおこなわれた。
参加者数 2,200 名以上 招待講演 1、特別講演 1、合同シンポジウム 3、シンポジウム 23、スポンサーシンポジウム 11 (シンポジウムはセッション数)、一般演題 76 (口頭 20、ポスター 56) 収支は大幅黒字で決算したことが報告された。
併せて AsCNP2019 開催報告が、池田会長よりおこなわれた。
特別講演 5、シンポジウム 61、口頭発表 8、Pre-Congress Meeting 3、スポンサーセッション等 11 (以上セッション数)、ポスター約 240 題。収支は大幅黒字となり、AsCNP1, 250 万円、JSNP・JSCNP 各 625 万円納めることが報告された。

5. 第 51 回年会準備状況報告

宮川次期会長より、準備状況について報告された。
テーマ：脳と心の病に斬りこむ最前線
日 時：2021 年 7 月 14 日 (水) ～16 日 (金)
会 場：京都国際会館

会 長：宮川 剛（藤田医科大学）
同時開催：第 43 回日本生物学的精神医学会

審議事項

1. 2020 年度会計中間報告について
資料に基づき、大隅財務委員長より説明がおこなわれた。
その後、中込理事長より意見を求めたが特になく、承認された。
2. 名誉会員・功労会員推戴の件（総務委員長）
以下の名誉会員・功労会員候補者が承認された。
名誉会員： 石郷岡 純（活動継続のため辞退）、神庭 重信、山脇 成人、伊藤 芳久
功労会員： 喜多 大三、長谷 忠、西嶋 康一、松木 則夫、本橋 伸高、吉野 達規
3. 新入会希望者の件（事務局）
2019 年 11 月 1 日から 2020 年 4 月 3 日までに、366 名の入会申込があったことが報告され、全員を承認した。
4. 退会申請者の件（事務局）
2019 年 11 月 1 日から 2020 年 4 月 3 日までに、17 名の退会申請があったことが報告され、これを承認した。

以上

令和 2 年 4 月 25 日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長 代表理事 中込 和幸
出席理事 大隅 典子
出席理事 井上 猛
出席理事 大森 哲郎
出席理事 岩田 仲生
出席理事 尾崎 紀夫
出席理事 菊地 哲朗
出席理事 喜田 聡
出席理事 北市 清幸
出席理事 久住 一郎
出席理事 成田 年
出席理事 橋本 均

出席理事 服 部 信 孝

出席理事 南 雅 文

出席理事 宮 川 剛

出席理事 宮 田 久 嗣

出席理事 山 脇 成 人